

令和3年度事業計画書

令和3年度収支予算書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人 日本ばら会

全目次	(頁)
令和3年度事業計画書・収支予算書の表紙	1
令和3年度事業計画書	1~17
目次	2
(図1) 令和3年度公益法人日本ばら会「事業・組織図」	3
事業実施概要及び事業実施指針	
1 公益目的事業	4~6
11 普及推進事業	
111 苗木寄贈事業 「表1」近年に於ける苗木寄贈先一覧	
112 皇室奉仕活動 113 公共支援事業 (東京都・川崎市・村山市 等)	
12 展覧会事業 121 春の展覧会 122 秋の展覧会 123 地域バラ会活動支援 「表2-1」令和2年度各地春のバラ展(開催予定)の告知	6~9
124 相談事業	
13 情報提供事業 131 機関誌発行 132 HP 広報 133 バラ・カレンダー/書籍 等発行 134 表彰事業	9
14 国際交流事業 141 世界バラ会連合関連 142 在日主要大使館関係	10
15 品種改良・新品種登録事業 151 国際バラ新品種コンクール(JRC) 「表3」JRC 審査採点表 152 育種活動 153 国内/国際新品種名称登録	10~12
16 各種講座/資格認定事業 「表4」令和3年度各種講座等(申込書)	13~14
2 その他事業	
「会員創作 JRC 入賞品種」等の頒布(含む有償)	15
21 苗木及び関連用品の斡旋販売 「写真1」令和3年度「配布/試作苗」の決定・紹介	
22 関連用品斡旋販売事業	16
3 管理業務	17
令和3年度収支予算書	別紙

令和3年度各事業は下記の事業実施組織に基づいて実施するものとする。

令和3年3月31日現在

名誉総裁 寛仁親王妃信子殿下
 会長 麻生太郎
 副会長 長田武雄
 評議員会 (12~17名) 理事、監事、評議員の任免、予算・決算の承認等
 理事会 (12~17名) 予算・決算の承認、事業執行の承諾等
 理事長 小林幸子 理事会・評議員会の招集、理事会議長等
 監事 渡邊麻里 大木明美 山崎智恵
 常務理事 上野耕司 片山守 志村雪子 友淵之理子
 常勤理事 小林幸子 志村雪子 今井政代

1 公益目的事業（バラの植栽普及啓発・国際交流親善事業）	
11 普及推進事業（含 公共支援事業） 111 苗木寄贈（公共施設等） 112 皇室奉仕活動（2月及び9月上旬） 113 公共団体支援活動	14 国際交流事業 141 世界バラ会連合との連携 （含：バラ遺伝資源の保存活動） 142 在日大使館との連携
12 展覧会開催事業（含む相談事業） 121 春季全国展覧会 122 秋季全国展覧会 123 地域協賛バラ会等活動支援（全国大会） 124 相談事業	15 品種改良/登録事業 151 世界未発表新品種バラの試作・評価・表彰（Japan Rose Concours） 152 育種活動 （我が国の環境に適応したバラの創作等） 153 国内・国際新名称登録事業
13 情報提供事業 131 機関誌（ばらだより）の発行 132 HPの運営管理 133 カレンダー/栽培書等出版 134 表彰事業	16 各種講座/資格認定事業 161 バラ栽培入門講座 162 実技講座 162-1 育種実技講座 162-2 各種接木実技講座 163 資格認定制度 163-1 バラ学講座 163-2 資格認定試験
収益事業（その他事業） 我が国の環境に適応した会員創作バラ品種等の頒布（ネット・通信・店頭頒布） 21 関連用品幹旋頒布事業	3 管理業務 31 管理業務 32 共通事業管理業務

【事業実施概要】

今年度の主たる事業計画は以下の通りである。

【事業実施基本方針】

本会は「バラの植栽普及」、「品種改良、開発」及び「遺伝資源の保存」等を図り、「環境の緑化・美化」に寄与し、さらに「国際親善」に貢献すると共に「文化の向上」及び「国民の情操の啓発」に寄与するため、以下の事業に実施に全力をあげるものとする。

但し、本計画書に記載された個々の事業計画に関し、日本国政府によるコロナウィルス感染防止を目的とした指導・要請などに基づき、実施方法の変更・延期・中止をすることがありうる。

1 公益目的事業

11 普及推進事業（公共支援事業を含む）

111 苗木寄贈事業

全国の公益を目的とした活動を行う団体（以下「公益活動団体」という）に対し、バラの苗木を寄贈する事業である。当該事業は昭和41年より50年余も続けており、各地の公園施設、福祉施設、更生施設等への寄贈を行ってきた。

苗木の寄贈に当たっては、理事会で本年度の苗木生産・配布計画を作成し、「募集要項」に基づいて、全国の公益活動団体から苗木配布を募集する。

具体的な配布の対象場所としては、公園設備、街路設備、学校等の公共性・社会性の高い場所としている。寄贈場所の選定に当たっては、本会の「苗木寄贈規定」により以下の選定基準に基づいて行う。

- ・植栽予定地が自治体等で進めている緑化計画に合致していること。又は苗木の植栽を自治体が定めていること。
- ・植栽場所が苗木の育成条件に適していること。
- ・植栽予定地が公共性・社会性の高い場所であること。
- ・植栽後の苗木の管理主体が明確で、苗木の栽培管理が確実に実施されていると共に、本会が要請する「苗木の育成状況調査報告書」の提出に協力できることが前提になる。

表1 近年における寄贈苗配布先一覧

平成29年度	①山形県村山市東沢公園にプリンセスノブコ 122本寄贈
平成30年度	①復興支援 茨城県桜川市 桜川地域医療センター
	②復興支援 茨城県 茨城西部メディカルセンター
	③復興支援 茨城県 特別養護老人ホームまごころの杜

112 皇室奉仕活動

皇室バラ園に於けるバラの剪定作業等を行う。皇后陛下、皇太子陛下及び各宮家邸内バラ園の剪定等お手入れの奉仕は過去半世紀前からボランティア活動として続けられている。この活動は公益事業として継続していく。

本年度も春（2月上旬剪定）及び秋（9月上旬剪定）に皇室・赤坂御所及び各宮家にお伺いして剪定等の奉仕作業を行う。

113 公共団体支援（東京都・川崎市・山形県村山市）

- ① 東京都：特に神代植物公園の行事に支援活動を続ける。
- ② 川崎市：生田緑地公園のバラ栽培の運営管理、管理技術を支援していく。当該事業は生田緑地バラ苑のバラの育成及び維持管理技術の向上並びにボランティア活動の増進を図るため、バラの基本的管理技術を習得させ、自主的な活動組織として、バラ園の管理職員と協力しながらバラの育成管理等を行い、市民

に好感され、また川崎市として誇れるバラ園に育て上げることを目的としている。

- ③ 山形県村山市：平成 30 年度から上述川崎市に準じた活動を行う計画を進めている。

12 展覧会事業

「バラ植栽の普及」と「園芸文化の向上」に貢献するため、不特定多数の参加を促し、バラ愛好家増を図るため、例年通り春・秋の展覧会を実施する。また、全国各地の協賛バラ会（約 60 会）の展覧会情報を以下の「表 2」に示し、協賛するものである。

121 春の展覧会

令和 3 年度は、本会の推薦にて世界バラ会連合のエクセレントガーデンに選ばれた「横浜イングリッシュガーデン」にて 5 月 8 日(土)～9 日(日)までの 2 日間開催する予定である。当該展覧会はだれでも入場可能である。展覧会に於いては個人が持参したバラを展示するほか、コンテストも実施する（表彰事業参照）。

また、展覧会会場では、「バラ相談コーナー」を開設する（相談事業参照）。

横浜市役所の後援のもとに横浜イングリッシュガーデンの「くらしの館」を借りて実施する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により 2 月 26 日の理事会にて中止とした。

◎地域協賛バラ会/活動支援

日本各地には約 60 の地域バラ会があり、本会の目的の一つであるバラの普及について同じ目的を有しているので、以下に協賛バラ会「春の展示会一覧」を示し、協賛バラ会として協力関係を継続していく。

「表2」

令和3年度各地春のバラ展

	会名	会期	会場
	日本ばら会本部展		
北海道	札幌ばらの会		
青森県	青森ばら会		
	八戸ばら会		
岩手県	岩手バラ会		
	花巻ばら会		
秋田県	秋田バラ会		
	横手ばら会		
	大館ばら会	なし	
宮城県	仙台ばら会		
福島県	いわきバラ会		
茨城県	茨城バラ会県北		
	茨城バラ会県南	なし	
	茨城バラ会県西		
栃木県	小山ばら会		
群馬県	群馬ばら会		
埼玉県	埼玉ばら会		
千葉県	京成バラ会	5月15日(土)、16日(日)	京成バラ園芸ローズルーム
	市川ばら会		
東京都	武蔵野バラ会		
	町田ばら会	なし	
	横浜ばら会		
神奈川県	湘南バラ会		
	鎌倉ばら会		
	藤沢バラ会	なし	
	生田緑地ばら会		
	愛川ばら会		
新潟県	新潟ばら会		
愛知県	春日井ばら会	5月15日(土)、16日(日)	春日井市都市緑化植物園 「グリーンピア春日井」 緑の相談所
	名古屋ばら会		
	西尾バラ会		
静岡県	富士ばら会		
岐阜県	岐阜ばら会		
	東濃ばら会	6月9日(水)、10日(木)	名古屋市緑化センター(鶴舞)
石川県	金沢ばら会	5月22日(土)、23日(日)	本多の森ホール
富山県	高岡ばら会		
	富山県バラ会		
福井県	福井ばら会	なし	
三重県	三重ばら会北勢		
	三重ばら会中勢		
	三重ばら会南勢		
	鈴鹿バラ会		
大阪府	関西ばら会	5月7日(金)~9日(日)	花博記念公園鶴見緑地内 咲くやこの花館
	高槻ばら会		
	豊中市民バラの会		
京都府	京都部会		
兵庫県	加古川ばら会	5月15日(土)、16日(日)	加古川ウェルネスパーク内 「ウェルネスセンター」
広島県	広島バラ会		
	福山ばら会		
	福山ローザリアンクラブ	なし	
香川県	香川ばら会		
	竜雲ばらクラブ		
	ばらとガーデニング協会		
高知県	高知ばら会		
山口県	宇部ばら同好会		
福岡県	福岡バラ会	5月7日(金)~9日(日)	福岡市植物園 緑の情報館2階
	北九州洞海ばら会		
長崎県	佐世保バラ会	5月8日(土)、9日(日)	佐世保花園
熊本県	熊本ばら会		
佐賀県	佐賀バラ会	5月7日(金)~9日(日)	佐賀玉屋

122 秋の展覧会

令和3年10月29日から10月31日 日比谷公園展示場にて神代植物公園との共催で秋のバラ展を開催する。展覧会に於いてはバラのコンテストを実施するほかバラ相談コーナーも設置する予定である。当該コンテストは会員、非会員を問わず参加が可能であり、機関紙・ホームページ等で一般に広報して募集する。出品料は、経費実費として、会員は全種目合計で2,000円、非会員は1種目につき1,000円としている。審査料は無料である。

(注)「審査委員会」

春・秋の展覧会に於いて共通して実施するものにコンテストがあるが、その競技の優劣を公平に審議し、決めることは、ひいては会そのものの「信頼性」を問われる極めて重要な課題である。

本会は過去半世紀以上にわたり検討を重ね、「世界バラ会連合」の同意を得て「審査委員会」を設置している。審査委員会は公認された「審査委員」によって構成されており、その審査委員は本会の「審査認定制度」規定に基づき、所定の「講座」「試験」を経て、最終的に理事会で審査・承認された者である。

理事会の審査は「バラに関する知識・経験」のみならず本部バラ展における実績も問われ、「公平な審査・判断能力を持ち合わせた人格者」であるか、従来、バラ活動に於いて十分「指導的」であったかが問われるものである。

審査は、本会理事会で任命された審査員が実施する。当然、自己の出品した種目の審査をすることはない。審査の方法は、複数の審査員の採点を基礎として順位を決める方法であり、具体的内容は「展覧会及びコンテスト規定」に明記されている。

令和3年度「審査委員会」の構成

審査委員長	長田武雄	公益財団法人日本ばら会	副会長
審査副委員長	三根 薫	同	元理事
審査委員	伊藤信吾	同	理事
審査委員	北 健司	同	元理事
審査委員	島村武房	同	元理事
審査委員	今井宣代	同	元理事
審査委員	渡部佐代子	同	審査委員会メンバー
審査委員	坂本 千恵子	同	理事
常任審査員	伊加利勝悟	同	名誉理事
常任審査員	石橋五夫	同	名誉理事
常任審査員	矢沢 實	同	名誉理事

124 相談事業

バラ栽培に関する無料相談を以下の様に3箇所で行っている。

① 本部での電話、メール相談 ②春のバラ展会場 ③秋のバラ展会場

各相談コーナーには本会役員、上級指導員、審査員等が当たっている。会員からだけでなく、一般の人からも相談がある。これに応える事によってバラ愛好家が増えて行くものと期待される。ひいては、より多くの人々がバラによって、潤いのある生活が送れることを願っている。

13 情報提供事業

131 機関紙「ばらだより」の発行

近年、会員の減少により会費収入が激減し、会員による投稿も少なくなった背景から月刊は困難になったと判断し、平成28年度からは「4回/年発行」としている。令和3年度はNo.710～No.714号を発行する予定である。機関誌「ばらだより」を通じて、バラの普及啓発を進める。さらに情報誌の公益性を高めるため、多くの国民が容易に「バラ作り」ができ、生活の中にバラを取り入れることが出来るように、「易しく、正しい栽培技術」、「丈夫な品種の紹介」、「バラの色々な楽しみ方」などの情報を提供する。機関誌の年間購読料は会員は無償、非会員は4,800円である。(会報：600円/月×3回=1,800円、年報：2,000円、計3,800円、送料1,000円、合計4,800円/年)

132 HP 公報

本会のホームページにも「毎月のバラ栽培のポイント」を発表する。さらなる充実のため会員各位の情報・原稿が必要である。協力を期待する。機関誌「ばらだより」(事業131)及びホームページ(事業132)において月々のバラの手入れ技術、バラの育成方法、バラの品種紹介等バラに関する有益な情報を広く公開している。

133 栽培暦カレンダー・栽培書等の出版

本会のカレンダーには最近のバラ品種の紹介のみならず、月々の重要栽培事項のポイントを紹介してあるので普及・技術の向上に役立っていると考ええる。

134 表彰事業

バラの栽培技術の向上を図り、バラを広く普及させることを目的として表彰を行う事業である。普及活動、カーデニング活動、著作、試験研究等で秀いであつた功績がある個人、団体に対しても表彰を行う。表彰は「執行委員会」の推薦に基づき理事会が決定する。表彰では表彰状を授与する。

14 国際交流事業

141 「世界バラ会連合」

「The World Federation of Rose Society (WFRS)、現在 40 カ国加盟」に加盟し、随時、国際会議・国際大会に参加することにより、バラに関する情報交換・国際交流を行う。2006 年には世界バラ会連合の認可の下、世界バラ会議(大会)を本会主催により大阪市で開催した。

2018 年度には広島県福山市の 2024 年度世界大会立候補を推薦し、コペンハーゲンでの世界大会で承認された。本年度からは福山市での世界大会に向けて準備等を支援して行く。また、今後とも「世界バラ会連合」の各常設委員会(表彰、育種、分類、登録、保存、大会開催、古花、試作場、組織運営等)に積極参加する。また、世界のバラ園巡りのため、海外ツアーも可能な限り促進したい。

142 主要在日大使館との交流

各国の情勢を見定めながら、連携を深めることを図りたい。

15 品種改良・登録事業

151 世界未発表バラ新品種の試作、評価、表彰事業 (JRC, Japan Rose Concours)

国内外から世界未発表の新品種バラを募集し、試作、評価、表彰を実施する。神代植物公園に一定期間(2年及び3年間)植栽、試作して審査を行うため、東京都と共同主催で事業を実施している。当該コンクールは50年余にわたって開催しており、世界からも高く評価されている。鋭意継続したい。当該事業においては、会員・非会員を問わず出品可能であり、機関誌・ホームページ等で一般に広報して募集する。参加出品料及び審査料は無料である。

審査は、本会理事長及び神代植物公園所長が委嘱した「審査員」によって行われる。

審査は複数名の審査委員で構成され、直接の利害関係者は審査委員にはならない。審査の方法は、複数の審査員の点数を基礎として順位を決める方法であり、具体的な内容は「国際バラ新品種コンクール規程」に明記してある。受賞者、受賞作品、受賞理由については機関誌・ホームページ等で公表する。

例年、世界の有数のバラ育種家等より送付されて来るコンテスト参加品種は数十種余あり、それを植栽・試作し、審査「2~3年間(つる系)」をしている。最近、海外から参加している著名な育種家には次の諸氏がいる。[Meilland(メイラン、フランス)、Delbard(デルバール、フランス)、Poulsen(ポールセン、デンマーク)、Tantau(タンタウ、ドイツ)、Kordes(コルデス、ドイツ)等]、国内では京成バラ園芸(株)等のプロも参加している。最近では日本ばら会員であるアマチュア・ブリーダーの参加も多くを占め、盛大に展開されている。

春季（5月～8月）は春の花の審査（香り部門を含む）と秋花のための剪定作業を行う。秋季（10月～3月）は、秋の花の審査（香り部門を含む）と年度表彰品種の集計・評価及び次年度国際新花コンクールのため保管・植付け及び前年度植付け分の剪定作業を行う。

評価報告書には品種の花の「写真」も添付している。栽培管理及び評価・審査には、日程・作業内容について部内で検討すると共に、東京都側と連絡協議して実施する。

◎入賞結果は速やかに世界バラ会連合に報告し、そのHPで世界に（年2回発行）発表される。

◎「表-3」に、現在審査に使われている「審査採点表」を示す。

これは世界バラ会連合に提出して、承認された採点表である。

世界の主要国に25ヶ所余の「新花評価試作場」(Trial Ground)が設置されている。

「表-3」

世界未発表新品種バラのJRCにおける「審査採点表」

（世界バラ会連合基準）

第Ⅰ部 「HT,Gr」 (点)	第Ⅱ部 「F,S」	第Ⅲ部 「Min, Pat」	第Ⅳ部（春） 「CL,S」	第Ⅳ部（秋）
開花性（高芯性） 10	（多花性） 10	（多花性） 10	（多花性） 10	（多花性） 10
花色 10	10	10	10	10
花質 10	10	10	10	10
花品 10	10	10	10	10
香り 内強さ 5	5	5	5	5
内質 5	5	5	5	5
成長力と樹型 10	10	10	10	10
耐病性 内耐黒点病 10	10	10	10	10
内耐ウドンコ病 10	10	10	10	10
新奇性 20	20	20	20	20
合計 100	100	100	100	100

香り金賞 : 各部入賞品種の中から「最高に香りの良いバラ」に与えられる。

152 育種活動

バラの育種経験の長い委員から構成される「育種委員会」において、我が国の気候風土に適した強健な新花を創出する活動を行っている。

153 国内・国際新品種名称登録事業

また、バラの新品種についての国内登録及び国際登録（世界バラ会連合）の申請手続の支援を行う。申請手続支援の手数料として、国内登録・国際登録各々につき一件当たり会員の場合 3,000 円、非会員の場合 10,000 円を受領する。

年 1 回以上育種委員会を開催し、情報交換をし、特徴があつて、我が国の気候風土に適した強健な新花を創出し、バラの普及に努めている。東京都立神代植物公園内の「国際バラ新品種コンクール（JRC）（事業 151）」に出品を進める。さらに日本作出品種の国内・国際登録を促進する。JRC の入賞花は「世界バラ会連合」のホームページに掲載され、世界中のインターネットで見ることができる。「国際登録（名称登録）」は世界バラ会連合の登録委員会（Registration Committee）の審査に基づいて登録される。そこで発行されている正式名称登録辞典「Modern Roses」にも既に日本作出花が 150 種以上登録されており、今後も増加が期待される。

16 各種講座・資格認定事業

バラに関する豊かな経験、広範な知識や最新の技術等を備え持ちバラの普及、啓蒙活動を先導し、環境の緑化・美化と地域環境づくりに貢献する人材を育成する目的で以下の「講座」を公開実施するとともに、「資格認定事業」を行い、バラの普及を名実共に、自信を持って実施するものである。

各事業を詳細に区分すると以下ようになる。

◎令和3年度実施事業：

161「バラ栽培入門」講座（含：見学会）会員：¥8,000 非会員：¥12,000

162「実技」講座

162-1「交配・育種実技」講座 会員：¥9,000 非会員：¥12,000

162-2「各種接木実技」講座 会員：¥9,000 非会員：¥12,000

163「資格認定制度」講座

163-1「バラ学」（抜粋）講座 会員：¥20,000 非会員：¥25,000

163-2「認定試験」（インストラクター、上級指導員、公認講師

会員：¥10,000 非会員：¥15,000

◎各講座の「説明」

◎161「バラ栽培入門講座」は、一般市民も含めたバラ栽培入門者を対象にバラ園見学を兼ねて年4回実地研修が行われる。

◎162「実技講座」の一つは「交配・育種」技術の習得を目的とした講座であり、もう一つは「接ぎ木」講座で、各年3回で構成されている。

◎163「資格認定制度講座」は現代バラ学の幅広い知識・技術を身につけるため、詳細に「基礎知識」から解説し、最終的には世界に通じる「ローザリアン」を養成するため、高度な知識・技術の講義を行う。年間5回の講座で、それぞれのレベルに応じた「資格試験」を受けることが可能になる。なお今年度より従来の東京の他大阪も開催する。

◎インストラクターは上記講座を受講した者が受験し、上級指導員は、インストラクター資格を取得した後2年間以上経過した者が受験し、公認講師の受験資格は、上級指導員の資格取得後3年以上バラ普及活動を行った者及び理事会が認めた者が受験する。

試験は、筆記試験により行い、一定点数以上で合格とする。受験案内・試験範囲、合格者等は、機関誌・ホームページで公開する。但し、審査員については「試験の合格」のみならず最終的には理事会の審査・承認を必要とするものとする。

2021年度 公益財団法人日本ばら会
各種講座・資格認定講座・試験一覧（申込書）

以下に各講座の「申込書」及び「各講座の年間スケジュール」の詳細を示す。

表 4 (□会員 □非会員)

◎申込者氏名： _____ ◎申込日 年 月 日

◎住所： 〒 _____

◎TEL： _____ FAX/メールアドレス _____

◎お申し込み方法：2021年4月26日までに、受講申し込み欄に○印をつけて、事務局へFAXまたは郵送してください。（HPからも可能です）

◎お支払い方法：各講座初回1ヶ月前にお送りします払込み取扱票(案内書と同封)にてお振込みください。

講座・試験などの種類 開催年月日等		受講料（全通年募集）		受講 申込み	場所・講師（備考）	
		会員	非会員			
バラ栽培入門 (実習)講座	5月21日(金)	8,000円 (入園料別途)	12,000円 (入園料別途)		・東京近郊会議室 ＜講師＞小林(幸)理事長 他 最少参加数10名で実施	
	8月20日(金)					
	11月26日(金)					
	2022年2月25日(金)					
交配・育種 実技講座	5月14日(金)	9,000円	12,000円		・東京近郊会議室 ＜講師＞上野常務理事 他 最少参加数10名で実施	
	11月12日(金)					
	2022年2月25日(金)					
各種接木 実技講座	9月3日(金)	9,000円	12,000円		・東京近郊会議室 ＜講師＞上野常務理事 他 最少参加数10名で実施	
	12月3日(金)					
	2022年1月28日(金)					
資格認定 (バラ学)講座	開 催 地 東 京	5月29日(土)	20,000円	25,000円	・東京駅近郊会議室 ＜講師＞長田副会長 責任者 小林(幸)理事長 他 最少参加数10名で実施 (リモートでの講習の可能性も有り)	
		8月7日(土)				
		10月2日(土)				
		12月4日(土)				
	補講 総括 2022年1月15日(土)	4,000円	5,000円			
	大 阪	6月5日(土)	20,000円	25,000円	・大阪駅近郊会議室 ＜講師＞長田副会長 責任者 片山常務理事 他 最少参加数10名で実施 (リモートでの講習の可能性も有り)	
		8月7日(土)				
		10月9日(土)				
12月11日(土)						
補講 総括 2022年1月15日(土)	4,000円	5,000円				
認定試験	東京・ 大阪	2022年2月12日(土) 東京・大阪同時実施	10,000円 (資格認定手数料別途)	15,000円		インストラクター・上級指導員・公認講師 東京会場にて同時実施

◎事務局：〒158-0083 東京都世田谷区奥沢7-19-14 ベルハイム九品仏A103号
TEL: 03-3702-9413 FAX: 03-3702-9414
E-MAIL: rose-society@mx2.ttcn.ne.jp

2 その他事業

21 苗木及び関連用品の斡旋頒布

苗木頒布事業（育種委員会）（会員・一般等へバラ苗等の頒布）

本会が主催する「JRC」（Japan Rose Concours：世界の育種家が参加している「世界未発表バラ新品種コンクール」）で2～3年かけて試作・評価されて、入賞した「会員創作品種」を主体に頒布し、バラ植栽の普及を推進する事業である。

（注：営利業者等からバラ苗を購入し、販売することはしない。）

例年バラ普及活動の一環として、会員及び全国委員に下記の新品種苗を頒布する。希望による一般への頒布価格は、苗木代、梱包料、配送料及び手数料の実費負担とする。

「写真1」 令和3年度用「配布苗」「試作苗」等の紹介

「配布苗用」

レジーナ（HT）



「試作苗」

紅しおり（HT）



2021 年度幹旋頒布苗注文数

				()は地方幹旋分
ホワイトベリー	HT	2018 年度 JRC 金賞花	注文数	74 本 (37)
犀清	HT	2018 年度 JRC 銀賞花	注文数	22 本 (2)
イーハトーブの光	HT	2018 年度 JRC 銅賞花	注文数	25 本 (5)
遥香	HT	2017 年度 JRC 銀賞花	注文数	22 本 (1)
まちあかり	HT	淡いクリームに弁端淡いピンクのグラデーション コンテスト向き	注文数	35 本 (10)
ガーデンプリンス	HT	親ガーデンパーティー花色白	注文数	15 本 (0)
レッドクリフ	HT	コンテスト向き人気品種	注文数	26 本 (2)
お市の方	HT	花色淡いピンク 丸弁	注文数	5 本 (0)
ファーストレディアキエ	HT	コンテスト向き人気品種	注文数	28 本 (4)
ピュアレディ	HT	花色鮮やかなピュアピンク	注文数	22 本 (3)
サムシングブルー	HT	花色薄いブルー、多花性	注文数	22 本 (4)
キタイン	F	2012 年度 JRC 金賞花	注文数	9 本 (2)
尾山	HT	花色ピンク コンテスト向き	注文数	26 本 (3)
ホワイトボンボン	Min.	咲き始めややピンク、開花につれて白、ボンボン咲き	注文数	2 本 (2)
彩姫	F	藤色がかかった淡いピンク	注文数	5 本 (5)
雨ニモマケズクリームイエロー	F	淡い黄色から白色に変化	注文数	11 本 (11)
合 計				349 本 (91)

2021 年 ローズカレンダー

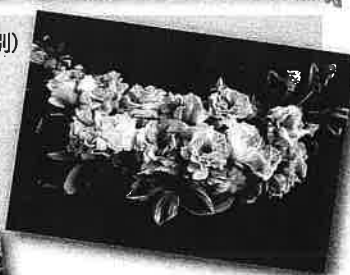
A4 判 プラスチックホルダー付き (消費税込み・送料別)

価 格 会員：1,000 円 非会員：1,200 円

会員は 30 部以上は 1 部 850 円

送 料 50 部以上は送料無料。(前年度同様)

★ご注文は FAX でも承ります。 FAX 03-3702-9414



3 管理業務

管理業務を実施する部門は「執行委員会」で、その執行委員会は常務委員会（常務理事、常勤理事と理事長で構成）によって支援される。執行委員会の第1の業務は「事務局」の管理である。その最大の業務は経理会計業務の日常管理にある。この業務は経理担当と理事長によって実施される。第2の業務は、各委員会との連携業務である。本会の事業・業務の中には、全体のバランスを見る必要があり、当該委員会だけでは決定・実施できないものがある。以下のものがそれらの事業である。

111「苗木寄贈」事業

113「公共支援」事業

132「HP公報」事業

134「表彰事業」

14「国際交流」事業

153「国内/国際新品種名称登録」事業

16「各種講座/資格認定」事業

(令和3年度「事業計画書」 以上)